

製品安全データシート

1 製品名及び会社情報

製品名 : V-SPRAY(ブイ・スプレー)
会社名 : 株式会社VICTAS
住所 : 東京都港区赤坂1-9-13
担当部門 : 製品本部
電話番号 : 03-5545-3933
FAX : 03-3588-5666

2 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 非イオン界面活性剤
成分及び含有量

| 成分 | 管報公示整理番号 | CAS No. | |
|-----------|----------|------------|----------|
| 非イオン界面活性剤 | 7-97 | 68439-51-0 | 0.5~3% |
| 水 | - | - | 97~99.5% |

3 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 該当しない
有害性 : 特記すべき危険有害性はない
環境影響 : データなし

4 応急措置

吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。保温して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合 石鹼を使ってよく落とす。かゆみや炎症等の症状がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。
目に入った場合 清浄な水で最低15分間洗顔したあと、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火剤 水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤が有効。
特定の消化法 周辺火災の場合は、速やかに移動可能な容器を安全な場所に移す。移動不可の場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。着火した場合は、火元への燃焼を断ち風上から消火剤を使用して消火する。
消化を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、漏出した場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

| | |
|--------------------|--|
| 環境に対する注意事項 除去方法 | 特になし 漏出液を容器に回収し、その後ウエス、ペーパータオル等で拭き取る。 |
| 二次災害の防止 | 特になし |

7 取扱及び保管上の注意

| | |
|--|---|
| 取扱い 技術的対策 安全取扱い注意事項 注意事項 保管 適切な保管条件 | 換気の良い場所で行う。 適切な保護具を着用する。 室内で取扱いを行う場合は、十分な換気を行う。 凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。品質保持のため他の容器に入れかえないでください。使用後は密封して貯蔵する。 |
|--|---|

8 暴露防止及び保護措置
設備対策

| | |
|---|---|
| 保護具 呼吸器用の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具 | 取り扱いについては密閉された装置、機器又は局所もしくは全体排気装置を設置した場所で行う。 通常の手扱いは特に必要なし 保護手袋 保護眼鏡 保護靴、長袖作業衣等 |
|---|---|

9 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------|---------------------|
| 物理的状態 形状 | 無色透明液体(常温) |
| 物理的状態が変化する特定 沸点 | の温度 / 温度範囲 データなし |
| 臭気 | 無臭 |

10 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---------------------|
| 安定性 | 通常の手扱い条件においては安定である。 |
| 反応性 | 反応性なし |
| 危険有害な分解生物 | データ無し |

11 有害性情報

| | |
|------|------|
| 急性毒性 | 知見なし |
| 感作性 | 知見なし |

12 環境影響方法

| | |
|-----|-------------|
| 分解性 | 現在のところ知見なし。 |
| 蓄積性 | 現在のところ知見なし。 |
| 魚毒性 | 現在のところ知見なし。 |

13 廃棄上の注意

特別の処理は必要ないが、やむを得ず廃棄する場合は、多量の水で洗い流す。
空の汚染容器・包装を破棄する場合は、きれいに水洗いし、各自治体の指示に従い処理をする。

14 輸送上の注意

国連分類： 非該当 国連番号： 非該当
IATA/ICAO： 非航空危険物該当

輸送の特定の安全対策及び条件

積載方法： 容器毎に、栓の締め具合、漏れの無いことを確認し、容器の転倒落下、摩擦等、容器の損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15 適用方法

化学物質管理促進法： 該当せず
労働安全衛生法： 該当せず
消防法： 該当せず
危険物船舶運送及び貯蔵規則： 該当せず

16 その他の情報

引用文献

： 界面活性剂等MSDS作成ガイドライン・標準モデル
日本界面活性剤工業会

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いには十分注意して下さい。

： 本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改定されることがあります。また、注意事項は通常の実施の上ご利用ください。ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。